



うちゅうにいきたいまことくん

作者：パン吉

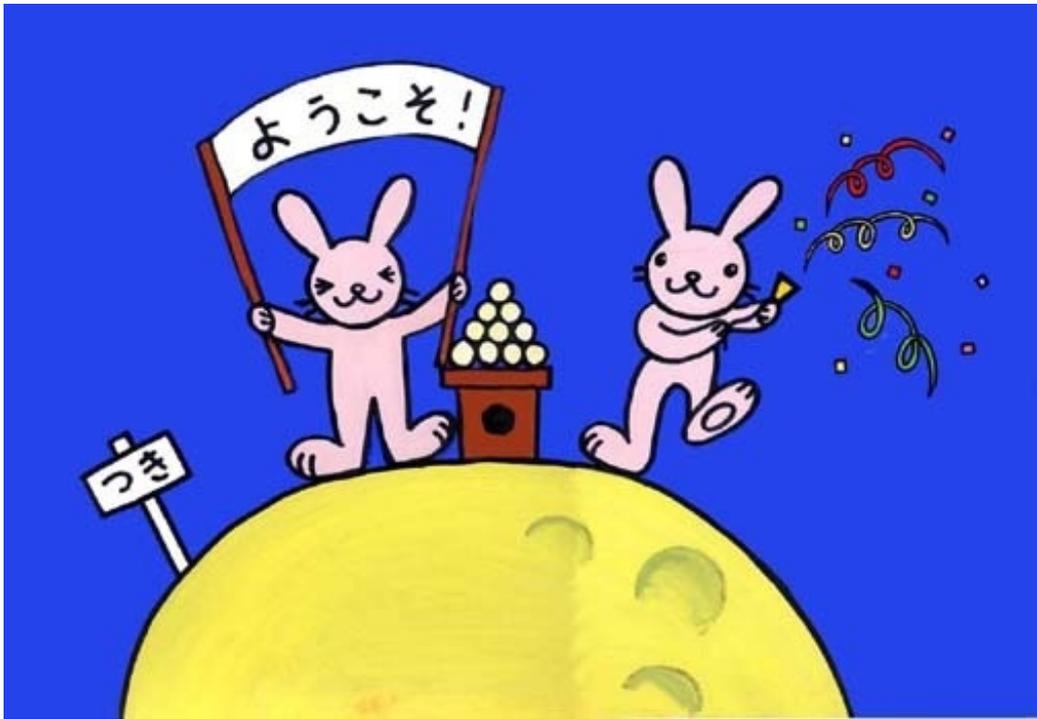
概要：あるひうちゅうのほんをよんでいたまことくん…。



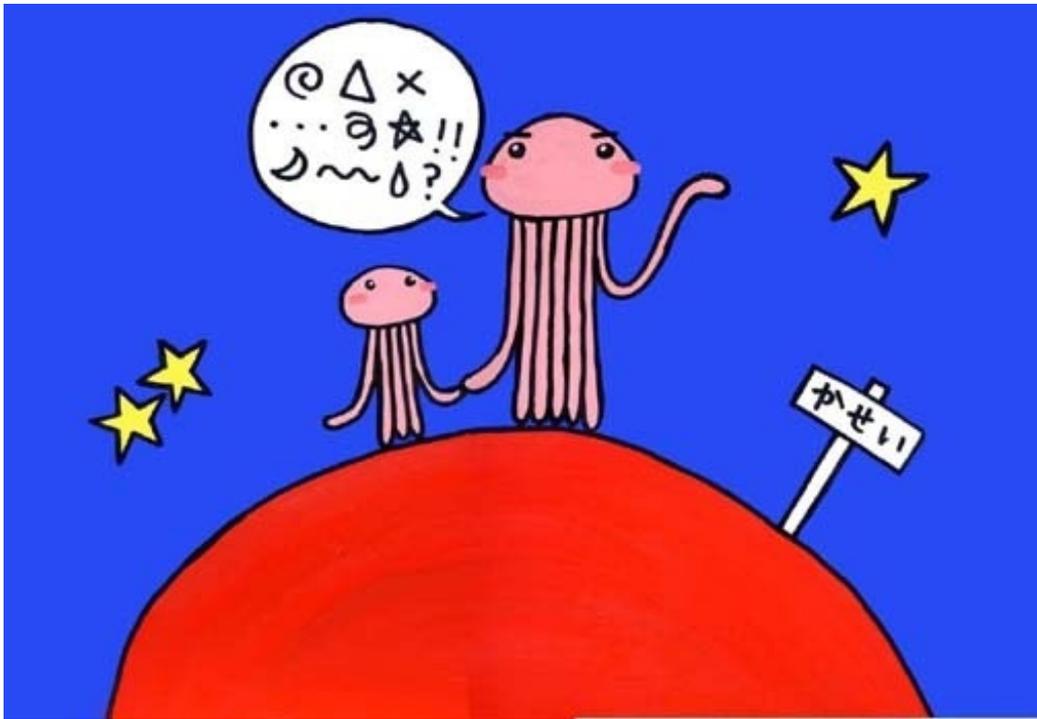
あるひ まことくんは
つきや ほしが いっぱいのった うちゅうの
えほんをよんでいました。



まことくんは すっかり むちゅうになって
「うちゅうせんにのって うちゅうに いってみたいな。」
と かんがえはじめました。



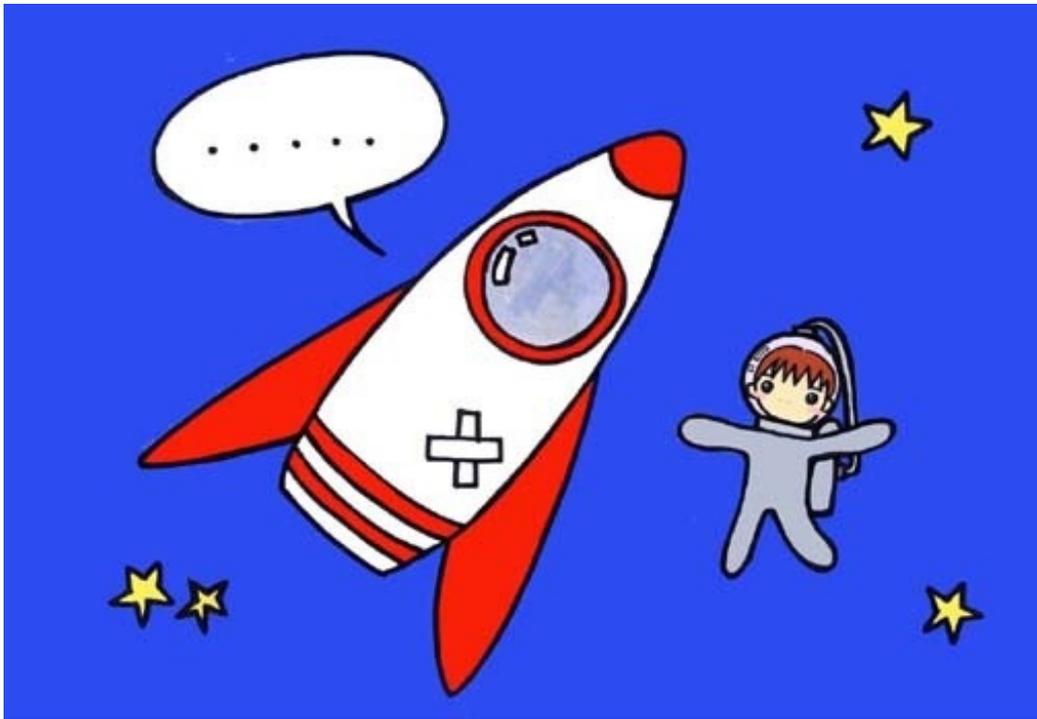
「まず さいしょに つきにいくんだ。
きっと うさぎさんたちが だいかんげいで むかえてくれるよ。
おいしい おだんごを よういしてね。」



「そうそう ぼく うちゅうじんの ともだちもほしいんだ。
でも ことば つうじるかな？
でも いっしょに あそんだら すぐに なかよくなれるよね。」



「わすれちゃいけないのが どせいの わっかのどうろを あるくこと。
こうつうじこの しんぱいもないよ！」



「でも ひとつ もんだいがあるんだ。
うちゅうせんが こしょうしたらどうしよう!?
やっぱり ぼくがなおすんだよね!?おそとにでて。
きっとむりだよ。だって・・・。」

「ぼく およげないんだもん。」



「うちゅうに行くまえに まず およぐれんしゅう しなくちゃね。」